

# 耐液状化格子状 深層混合処理工法

TOFT工法

## TOFT工法は阪神大震災に遭遇しましたが、 液状化を防止し、信頼性の高さが確認されました。

耐液状化格子状深層混合処理工法 (TOFT工法) は、液状化を克服する画期的な技術で、建設省土木研究所と(株)竹中工務店、(株)大林組、不動建設(株)、(株)竹中土木の5者が数年にわたる共同研究を行って開発したものです。

TOFT工法によって液状化を防止できる原理は、液状化対象地盤を格子状に固化改良することにより、固化地盤で囲まれた砂地盤のせん断変形を抑制し、過剰間隙水圧の発生を防止す

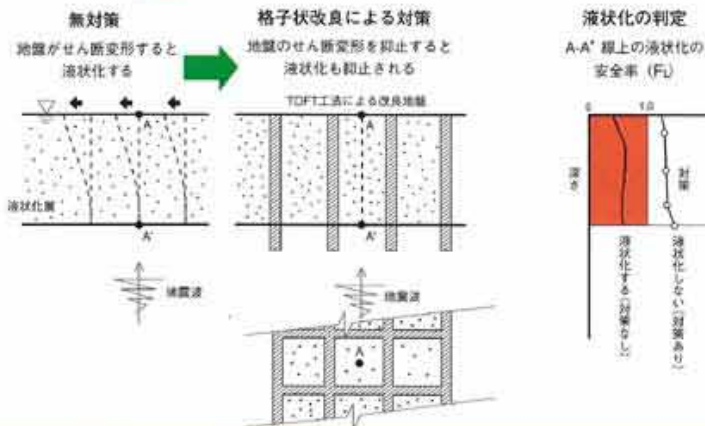
ること、及びその結果構造物を保護し、大変形を防ぐということです。また振動・騒音が小さく環境にもやさしい、都市を地震から守る工法です。

TOFT工法は共同研究5者の特許工法です。

特許第2568115号



### 液状化抑止効果の原理



### 特長

**1 優れたソフト技術**  
液状化対策に最適な新しい設計技術を保有しています。

**2 既設構造物へも適用可能**  
新設構造物に限らず既設の盛土、掘削道路などの液状化対策が可能です。

**3 無騒音・無振動工法**  
騒音、振動が少ないため、市街地での施工や構造物に近接した施工が可能です。

**4 優れた経済性**  
改良形式を格子状とすることにより経済性に優れた構造とすることが可能です。

### TOFT工法による施工法

